

令和7年1月（第1回）教育委員会会議議事録

1. 開催の日時及び場所

令和7年1月21日（火）18:00～19:00

市役所本庁 4階 教育委員室

2. 出席委員の氏名

野口 政吾 教育長

田村賢二郎 委員

川崎 裕美 委員

重村 美帆 委員

澤田 英人 委員

3. その他議場に参加した者

床本部長、中村次長、佐々木学校教育課長、平塚学校教育課指導主事、三好教育総務課長、島谷教育総務副課長

4. 傍聴者

なし

5. 要 旨

教育長 : ただいまから、令和7年1月21日の第1回教育委員会会議を開催いたします。本日は、委員全員が出席しているため会議として成立していることを最初に報告します。また本日は傍聴の申し出はありませんでした。

教育長 : 次に、本日の会議録署名委員の指名についてですが、本日の会議録署名人は川崎委員にお願いします。

教育長 : それでは、本日は、その他の事項として、「令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について」「寄附の報告について」の2件となっています。

教育長 : 教育委員会会議は、公開を原則としていますので、本日の議題について、全て公開としてよろしいですか。

（全員異議なし）

教育長 : 異議がないようですので、本日の議題は全て公開とさせていただきます。

教育長 : それでは、その他の事項で「令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について」、事務局から説明をお願いいたします。

学校教育課指導主事 : それでは学校教育課から説明します。このほど、スポーツ庁が行っている全国の小学5年生、中学2年生を対象とした「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果が発表されましたので、本市における児童生徒の体力の現状について報告します。資料1 体力合計点についてのグラフは、体力の総合的な指標となる「体力合計点」の平均の推移です。青が宇部市、赤が山口県、黒が全国を表しています。小中学校とも、令和4年度から増加に転じ、今年度は小5女子を除き、合計点が上昇しました。特に中2男子は全国平均を上回りました。小5男女については、全国平均・県平均との差が縮まってきました。また、中2女子は特に大きく上昇し、全国との差がほとんどなくなっています。

次に、2のT得点について、全国平均の値を標準値50として、「握力」や「反復横とび」「50m走」など8種目をレーダーチャートに表したものです。小5男女ともに「シャトルラン」で全国平均の数値を上回ったものの、「握力」「長座体前屈」「反復横とび」「50m走」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」が全国平均を下回りました。しかし、昨年度課題のあった「上体起こし」が大きく改善し、男子は全国平均及び県平均を上回り、女子は、県平均を上回り、全国平均の数値とほぼ同等となっています。各小学校で行っている体育授業での準備運動やジャックナイフストレッチによる効果が表れていると推測されます。中2男子については、「握力」「上体起こし」「反復横とび」「シャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」の6種目が、女子は「握力」「反復横とび」「シャトルラン」「50m走」の4種目が全国平均の値を上回りました。さらに男子はそのうち「反復横とび」以外の5種目で、県平均を上回っています。小5男女、中2男女いずれも「長座体前屈」と「ソフトボール投げ・ハンドボール投げ」が全国平均及び県平均よりも低く、柔軟性や投げることに体力的な課題が見られます。次に、3の合計点の下位の児童生徒をご覧いただき、小5男女、中2男女いずれも合計点の下位の児童生徒の割合が減少しており、全国平均や県平均の値に近づいてきました。特に中2女子については、大幅に減少しました。いずれも「体力合計点」の上昇に連動していると言えます。最後に4の全国の合計点の平均を100とした場合の本市の指標をご覧ください。これまでの報告と重なりますが、中2男子は全国平均を上回りました。中2男子以外の小5男女と中2女子については、全国平均との差が縮まっています。特に中2女子は全国との差がほとんどなくなっています。昨年度、本年度と、体力向上に向けた全小・中学校の共通の取組を推進し、各学校で準備運動、お家で運動、新体力テストの充実に取り組みました。それらの取組が今回の結果へとつながっていると捉えています。また、今後は課題である柔軟性や投力など、その向上をめざした手立てを学校と一緒に考え、実践していきます。引き続き、新体力テスト等の結果に基づく年2回の検証改善サイクルや、学校の課題に合わせた学校オリジナル活動の取組を充実させ、各学校の課題に応じた、特色ある取組を推進することに努めてまいります。説明は以上です。

教育長 : ただ今の説明に対して、ご意見ご質問をお願いします。

委員 : ジャックナイフストレッチとはどういうものですか。また、具体的に数値を高めた取組はありますか。

学校教育課指導主事 : ジャックナイフストレッチは柔軟体操の1つで、学校では動画を見て実施しています。柔軟性に課題が見られましたので、小学校ではドラえもん体操を定着するよう促しており、ジャックナイフストレッチも強制ではありませんが紹介しています。

委員 : 各学校オリジナルの取組を比較して情報共有されていますか。

学校教育課指導主事 : レポートで好事例を報告いただいていますので、今後、情報共有していく予定です。

委員 : 2 T 得点について、中学生の「握力」が高い理由は分かりますか。また、「ハンドボール投げ」が、それに伴わない理由も分かりますか。

学校教育課長 : 現時点で不明ですので、学校からのレポートを見直して、今後解析していきます。

教育長 : 他にご意見がないようですので、次に、その他の事項で「寄附の報告について」、事務局から説明をお願いいたします。

教育総務課長 : 1 2 月の寄附について報告します。1 2 月は1 件の寄附がありました。令和6 年1 2 月5 日匿名の方から、平成2 4 年度から通算1 5 2 回目5, 0 0 0 円の御寄附を交通遺児のためとしていただきました。説明は以上です。

教育長 : 報告については以上となりますが、何かありましたらお願いします。では、以上をもちまして、本日の会議を終了します。